

令和4年度 第1回幕別町図書館協議会会議録

- 1 日 時 令和4年7月20日(水) 午後4時から4時45分まで
- 2 場 所 幕別町図書館研修室
- 3 出席者
 - (1) 委員 10名
山根会長、瀬藤副会長、坂本委員、竹田委員、佐々木委員、本間委員、坂下委員、小笠原委員、江波委員、山下委員
 - (2) 事務局 5名
川瀬教育部長、天羽館長、民安係長、清水主任、西川司書補
- 4 会議次第 議事進行：山根会長
 - (1) 会長挨拶
 - (2) 事務局より報告
 - ア 図書館協議会委員の変更及び自己紹介（藤川委員）
 - イ 人事異動に伴う事務局員の変更及び自己紹介（川瀬教育部長、清水主任）
 - (3) 議事1 第4期幕別町子どもの読書活動推進計画の策定について
「【資料1】第4期幕別町子どもの読書活動推進計画の策定について」に基づき、事務局より説明。
○質疑等なし
 - (4) 議事2 図書館基本方針及び図書館蔵書計画の策定について
「【資料2】図書館基本方針及び図書館蔵書計画の策定について」に基づき、事務局より説明。
○質問 本間委員 アンケート項目にあるAR、ストレスチェックとはどういったものか。
○回答 民安係長 ARは、拡張現実と呼ばれるものであり、設定した画像や場所にアプリのカメラをかざすと、そこにあるはずのないものが見られるという機能である。町の史跡などを紹介する「歴史の散歩道」というマップ、幕別町の観光マップにカメラをかざすと、紹介動画が見られるという取組を令和2年度にから行っている。ARを町の情報発信に活用している。
ストレスチェックは、人差し指2本を測定器に2分間かざすと、自律神経のバランスによりストレスの度合いを計測できるものである。あわせて、例えばストレス過多であれば、司書が「心を休めるのに海の写真集はいかがですか」

とおすすめるなど、測定の結果に応じて本を紹介するという取組をしている。令和2年度、3年度は新型コロナのため休止することも多かったが、令和3年度は58人の利用があった。図書館から発信する予防医療として取り組んでいる。

質問 ○本間委員

それは札内や忠類でも受けることができるのか。

回答 ○民安係長

1台しかないなので、各館で10日間ずつ巡回させて実施している。

質問 ○瀬藤委員

図書館蔵書計画の中で、ベストセラーの複数本について考え方を聞かせてほしい。

回答 ○民安係長

基本的には購入しない方針である。限られた予算の中で皆さんが必要とする資料を揃えたいため、ベストセラーであっても購入していない。ベストセラーなど人気のある本で2、3冊所蔵しているものは、ほとんど寄贈である。ただし、児童書については残しておきたい本など、場合によって複数冊を購入している。

質問 ○瀬藤委員

そういった運用において、利用者からの問い合わせはないのか。

回答 ○民安係長

予約が20番目以降になると、そんなと言われることもあるが、1冊しかないということでご理解いただいている。

質問 ○瀬藤委員

図書館蔵書計画に関して、地元書店に発注し、地元福祉事業所が装備を行っているということだが、新刊は発注から何日で本が納品されるのか。

回答 ○民安係長

図書は、司書による選書会議後に発注をするが、図書館、書店、福祉事業所を行き来するので、早くて2～3週間であり、1カ月かかるものもある。